

明日にむかって

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2011年3月25日
住所 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

64号

東北地方太平洋沖地震の状況が日増しに明らかになり、その惨事に胸が絞めつけられる思いです。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。3月11日、14時46分、陽光保育園は「卒園を祝う会」終え、ほとんどの子は午睡中でした。大きな揺れがあったのと同時に保育者が「地震だからみんな起きて」と言うと、幼児クラスはパニックになることもなく自分で着替え、小さいクラスの子も大人の話をよく聞いてスムーズに動き、全クラス防災頭巾をかぶってホールに集まりました。4年前、新しい園舎に建て替えて本当によかったと思いました。毎月の避難訓練も役立ち、安全確保の判断と行動ができたのだと感じます。ホールで待機していることもなく次々と保護者がお迎えに来てくれました。自営業のお父さんは、都心で働く保護者の子どもと一緒に迎えてくれました。長野出張中のお母さんは、同じクラスのお母さんに子どもを泊めてもらいました。困ったとき支え合い助け合う関係がいくつもありました。心温まる思いです。皆さんの安全を願ってやみません。(H・T)

板十小学童クラブの“縁日”



縁日はたくさんのお店を開店。ふうせんやさん(上右)も、金魚すくいならぬスーパーボールすくい(上左)も、もぐらたたき(左)も大人気!



2月に入ってから、時々学童クラブにもお邪魔して、子どもたちと少しずつ顔見知りになりました。学童クラブの活動ぶりも、指導員の中村さん・宮澤さんたちからいろいろ教えてもらっています。愛おしげに子どもたちと交流できる場に、現在、板橋第十小学童クラブでは50人の子どもたちと毎日一緒に過ごしています。毎年2月には学校の友だちと先生、陽光保育園の年長さんをお招き、縁日を行っています。学童クラブの子どもたち全員がお店を担当し、何度も話し合い、協力し合いながら準備をすすめ、当日を迎えました。当日は、たくさんのお客さんが来てくれて、子どもたちも一生懸命お店の仕事をしてくれました。

来年度から「あいキッズ」がスタートします。この縁日のように、学童クラブの子どもたちと一般登録の子どもたちが交流する場が少しずつ作っていかれたらと思っています。

板橋第十小学童クラブ 指導員 宮澤沙保

板十小「あいキッズ」 いよいよスタートです!

板橋第十小学校あいキッズ責任者 白井吉宗

二十数年前、娘たちがひとかたならぬお世話になった縁で、この度理事の末席に加わり、板橋区立板橋第十小学校の「あいキッズ」事業に携わることとなりました。

子どもたちのことを語り始めると、陽光の先生たちはキラキラと輝いてくれます。時にはもめ事も起こしながら仲良く楽しく育ててゆく子どもたち、この子たちをみんなで見守ってゆきたい……子どもたちへの優しいまなざしと、保護者を少しでも理解し協力しようという姿勢……「やっぱり陽光は素敵だな」と改めて実感しています。

長年学校に居たというだけで、私に何が出来るか心もなないのですが、新しくメンバーも増えることになり、みんなで力を合わせて楽しくやろうと張り切っています。

陽光保育園で培われたものが小学校を通して伸びてゆくというのは素敵なことだと思います。子どもたちにとって慣れ親しんだ学校を使えることも、遊びや活動をデザイン

「あいキッズ」について

小紙前号でお知らせしましたように、社会福祉法人陽光会では2004年度より板橋区立板橋第十小学校学童クラブの運営を受託、この4月からは同校の板橋区版放課後対策事業「あいキッズ」も運営受託することになりました。「あいキッズ」は全児童を対象とした事業で、子どもたちの遊び場を確保し、学習支援や体験交流活動を提供していくというものです。陽光会では、「あいキッズ」の運営受託にあたり、学童クラブの正規指導員を従来どおり2名のほか一般受入れにも正規指導員1名を置き、そのほかに学童クラブと一般の全体の責任者として白井吉宗さんに入っていたことになりました。白井さんは、この2月から、法人の理事にも就任しています。その白井さんにあいキッズ責任者としての思いなどをしたためていただきました。

●陽光保育園●

2011年度は、保育園の子どもたちが日ごろ遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。これまでに参加されたみなさまからも「家庭ではできないことができてよかった」「とても楽しかった」など、たくさんの感想をいただいています。公園ではできない遊びが体験できますよ。親子で気軽に遊びにきてください。無料です。

場所 陽光保育園(板橋区大谷口上町23-1) ☎3956-1068
時間 午前9時30分～11時(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児～就学前のお子さんと保護者
*参加ご希望の方は実施予定日の3日前までに電話ください。
*動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。
*お天気により変更する場合があります。
*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操・あやし遊びなどでゆったり過ごします。

2011年度◆年間予定

4月21日(木)	5月12日(木)	6月16日(木)
7月14日(木)	8月18日(木)	9月15日(木)
10月13日(木)	11月17日(木)	12月14日(木)
1月19日(木)	2月9日(木)	3月8日(木)

*9月:看護師が「健康」について相談を受けます。
*10月:栄養士が「食」について相談を受けます。

北町保育園に異動して1年になろうとしています。自ら志願してこの北町保育園に来ました。定年まであと1年しかないというのに何で?と思うかもしれませんが、僕は、何か新しいものに挑戦しようという心もいつも持っています。といっても、自信や才能を持ち合わせているというのではなく、保育におけるセンスを磨きたいという想いから、あと1年だから、そのチャンスを生かそうと思ってきました。

そしてこの1年間、楽しく保育ができました。公立保育園の保育内容を引き継ぎながら、自分のできることは何なのか、試しつつ保育をしてきました。

実践して一番に感じていることは、職員集団のチームワークのよさです。僕の保育の支えになっているのは、僕自身の力ではなく、職員集団の手助けのおかげだと思っています。人を思いやる心は保育の柱でもあります。職場の柱でもあります。この職員集団の中で保育を充実させ、今その到達点を見えています。素晴らしい子どもたちに育ちました。

(保育士 小内康寛)



社会福祉法人陽光会○近況

陽光保育園——縦割り保育のお別れパーティーを開きました



「おいしい、おいしいシチューになあれ!」。シチュー担当グループの子どもたちは、みんなで一生懸命食材を炒めました



3、4、5歳児みんなで作った料理をみんなで会食。「いただきます!」。天井の飾りも、色紙を使って、みんなで作りしました

「子どもたちの放課後から、サンマ(三間)時間・空間・仲間」が奪われた」と言われてすいぶん経ちます。子どもたちを取り巻く状況は一層せつなさを増している気がします。最初から欲張らずに一歩ずつ、陽光ならではの「あいキッズ」をつくっていきましょう。

何より地域の方々や保護者の皆さんが頼りです。子どもたちにとって魅力的な居場所、共育の、する大人たちにとっての拠りどころのひとつになれば……と、夢は膨らみます。微力な私たちに、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

練馬区立北町保育園
——運営を受託して1年がたちました

昨年4月に受託して、初めて卒園児をお送りいたします。年長児の担任で、3月で定年を迎える小内保育士に、この1年間を振り返り、今の思いを書いてもらいました。

一年を通して目に見えて成長

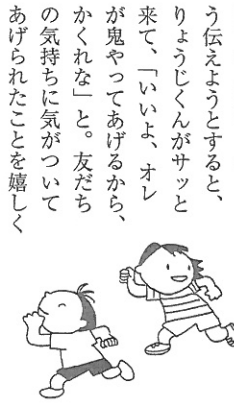
3歳児編

ときどき思いもよらぬ姿を見せてくれる子どもたち。今回もそんな子どもたちの姿をご紹介します。3歳児編です。

仲間気持ちに気づいてみずから行動

天気がいよいよ毎日散歩に出かけています。公園に着くと「しっぽ取りやりたい」「かくれんぼ」「鬼ごっこがいい」と、子どもたちからやりたい遊びが次々に出てきて、ジャンケンしたり話し合ったりして遊ぶか決めていきます。

この日は、かくれんぼをすることにしました。鬼決めジャンケンをするので、鬼役をあまりしたくなかったかおりちゃんが負けてしまいました。担任は、ジャンケンに負け、鬼をやった、鬼をやって欲しいと思ひ、そう伝えようとする、りょうじくんがサツと来て、「いいよ、オレが鬼やってあげるから、かくれな」と。友だちの気持ちに気がついてあげられたことを嬉しく



思い、そのままようじくんを鬼やってもらうことにしました。

遊びのなかでも成長の足跡が

思い起こせば、進級したばかりのころは、隠れていても鬼が捜し始めるとじっとしていられず、「はあ」「ここだよ！」と出てきてしまっていた子どもたち。それが今では、鬼に見つからないように静かに身をひそめています。隠れ場所も保育士と同じところに集まっていたのが、自分で探し、ひとりでも隠れるようになってきました。

この日も担任が一人で植え込みの陰に隠れていると、鬼のりょうじくんが次々に隠れている子を見つけていました。見つかった子どもたちも鬼と一緒に捜す側にならなくて良かったです。そのなかのひとり、りょうじくんが担任を発見！今までは「ここにいるよー」と大声で鬼に教えていたのですが、担任が



ようこうはいくえんの 一時保育

◆こんなときご利用ください
・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など。また保護者の傷病・被災・事故・出産・冠婚葬祭などの緊急時。
・保護者の子育て不安・リフレッションなど。
・育児相談 健康診断等で、お子さんが保育園での保育が必要と認められたとき。

利用日・利用時間など

月曜日～金曜日(9時～17時) (土・日・祝日・年末年始休)
1歳以上、離乳の完了しているお子さんから。ただし、板橋区発行「すくすくカード」ご利用の方は生後10か月から。
一日1時間～8時間。(ご希望の時間帯で利用できます。)

建築資金

◎寄付のご協力ありがとうございます。
(2010年11月20日～2011年3月1日/順不同・敬称略)
小川恵美子、高久マサミ、匿名希望者1名
陽光保育園父母の会(共同購入など)、北町保育園財政部
◎財政活動
職員によるリズム講座講師、陽光Tシャツ販売、食品販売
◎2010年度報告～社会福祉法人陽光会・建築財政連絡会より
寄付金(個人・団体) 215,977円 Tシャツ販売 240,101円
財政活動(リズム講師、食品販売等) 224,745円 募金 3,000円
バザー収益(土地購入借入金120万円返済差引き後) 146,335円
計 830,158円
2010年度の寄付金、財政活動などの合計は830,158円になりました。皆様のご協力、ご支援に心から感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



保育をめぐる情勢

待機児童対策は、認可保育園の増設で

東京都はこの1月、待機児童対策として、認可保育園の面積基準を引き下げた「緩和策」を児童審議会専門部会に提出しました。児童1人あたりの面積が、国基準では0歳児と1歳児は3.3㎡、板橋区は0歳児5.0㎡、1歳児3.3㎡です。この基準から大幅に下回り、0歳児・1歳児とも1人あたり2.5㎡でよいというのが今回の提案です。この緩和策を陽光保育園にあてはめると、0歳児は現在6名のところ定員12名に、1歳児は定員15名が20名にまで増えることとなります。確かに定員は増えますが、今の面積でも決して十分とはいえません。定員を増やせば、詰め込みになります。東京の子どもたちは、外で遊びたくても十分な場所がないというのは、そのうえ室内の面積まで狭くしてしまっただけで、子どもの成長・発達に影響を及ぼすのではと心配です。待機児童解消の近道は、公的な責任で認可保育園を増やすことだと思います。

ごあんない

◆陽光保育園後援会・春の交流会
日時 4月29日(祝) 11時～14時
場所 板橋区立平和公園
(上板橋駅北口徒歩5分)
とさわ通り・教育科学館そば)
参加費 大人 1人500円
(子ども、新会員は無料です)
*新会員の方の歓迎会もかねた交流会です。焼き肉、焼きそばなどを作ります。皿、箸、コップ、おにぎりなどをお持ちください。春の一日、おいに食べ、飲み、交流しましょう。

◆陽光保育園後援会総会
日時 5月27日(金) 19時～
場所 陽光保育園ホール
◆陽光保育園 夏のバザー
日時 7月3日(日) 10時～14時
場所 陽光保育園



親として願っている

子どもの成長は早いものだと、今さらながら思う。韓国籍をもつ在日四世として生まれた我が子たち。セイン(世仁)とファイイン(花仁)。セインは陽光保育園を卒園してはや2年、近くにある朝鮮第三小学校へ通う。セインの小学1での成長は目を見張るものがあった(決して我が子に限ったことではないが)。小学校に入學してまもなく授業参観があった。このとき、先生と子どもたちとのやりとりは、ちょっとした単語以外は日本語であった。しかし、その半年後の授業参観では、まだレベルは低いものの100パーセント、ハングル(母国語)だった。たかが半年でこんなに変化があるのか、その場に居合わせた父母たちからは感嘆の声が上がるほどであった。子どもの能力の可能性を垣間見る出来事だった。そんなセインも4月には3年生になる。以前にも増して、ハングルをスラスラと読み、文字も書き、喋る。そして学校のサッカーでは飽き足らず、常盤台サッカークラブに入り、のびのびとグラウンドを駆け回っている。一方、ファイインといえば、ひらがなを憶えはじめたのを機に、書く練習を兼ねて私との交換日記を始めた。「アッパたいすき。おしごとがんばって」から始まり、今ではいろいろな話をしてくれる。だいが交換日記らしくなってきた。そんなあるとき、忙しさにかまけて返事を延ばし延ばししていた私に、ファイインから日記帳を手渡された。そこには「アッパ、へんじをかいてくれないなら、このうかんにつき、やめるからね」と書いてあった。「やばいー娘にきりわれる」。そう思った私はいつもより心を込めて返事を書いた。次の日、返事を見たファイインは、「アッパ、やさしいね。ふあーちゃん、なみだがでそうになっちゃった。交換日記つづけていこうね」と言ってくれた。私はホッと胸をなでた。子どもと、女を怒らせて怖いのである。そんなファイインも今年陽光保育園を卒園して、兄の通う朝鮮第三小学校に入學する。昨今の日朝関係やさまざまな問題がとりざたされるなか、在日として生きていく2人の未来は決して平坦な道ばかりではない。少なからず偏見や差別もある。そんななか、2人には、明るく、元気に、たくましく、在日として堂々と、立派に生きていってほしい。親としてそう切に願う。

何故あの戦争をしたのでしょう



竹藤 陽之助

昭和20年3月10日、東京大空襲によって、深川・佐賀町のわが家は焼失しました。蓄積された一切の財産はもとより、それまでの家族のさまざまな思い出も消え去りました。唯一の救いは、3歳の末弟とともに妹3人と母は、群馬県の室田町に数日前、着のみ着のまま疎開していたこと、町内での警防団で法によりとどまざるを得なかった父、学徒動員で工場にかり出されていた中4の次弟が海軍兵学校の受験のために、たまたま居宅したこと、また私も、徴兵検査後、父のかかわる軍監督工場で事務の職を命じられ、折よく家に立ちかえったその日、はからずも命を拾いました。当日は終日、北の大風が吹き荒れていました。午後7時ころ、父と弟と家で雑炊をすすり、久々に顔を合わせていました。たしか一度だけラジオで警戒警報がありましたが、この大風では敵機B29も来襲なしと話した折から突然、空襲、空襲との声が聞こえました。すぐに立ち上がり外を見ると、なんと永代橋のそばで消防車が燃え上がっています。北の方、新川、茅場町、越前堀方向はそのときすでに火の海でした。大川を越えて人の頭大の火の玉が猛風にのって佐賀町方向にとんでいきます。これではわが家の類焼は時間の問題です。そんなときにも警防団の父は詰め所に向かうべく指示があり、弟と2人で避難することにしました。出がけに父、「新川の方は火災が火災だから、永代橋を渡って日本橋方向に行け！」と。しかし、あつと考えると、そちらに行っていれば、大川の流に私たちに死骸が浮かぶところでした。父の言に逆らって相談、余塵のくすぶる門前仲町から商船学校の方が火勢が少ないぞと、着のみ着のまま2人して手をつなぎ歩きました。家からわずか2kmくらいのところですが、門前仲町の交差点前についたときは、夜も明け始めていました。ふと弟の顔を見ると、ススだらけの顔に目玉だけが光っているイヨウな姿でした。おそらく私も同じです。周囲を見てもななくうかがうと、まるで河岸の鮎状態で黒焦げの死骸が転がっている有様。この世のものとは思えぬ地獄です。坐していればこの1人に私たちもと呆然としました。そのまま母のもとにかく迎り着きました。母の驚愕した顔は今でもはっきり思い出します。その後の人生は困難の連続でしたが、父母も次弟もなんとか平凡にこの世を去り、86歳になる私、なんとか息を吐いている次第です。(板橋年金者組合執行委員)